



# 有限会社リング

## 2019 年度 環境経営レポート

(対象期間:2019 年10月1日～ 2019 年12月31日)



作成日： 2020年1月16日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11

私たちは安全の確保を追求し、  
すべての人があんな社会を実現します

経営理念の実現は全社員さんとその家族、取引先、お客様、そして自分自身の幸せのためです。

幸せになることを目指すために自律して仕事に取り組み、  
お客様や地域に感動を与えることができるプロの仕事人を目指します。  
市場が求める商品・サービスの一步先を追求しつづけ  
企業活動を通じて地域社会から信頼され社会貢献ができる会社でありつづけます。

※自律とは: 他からの支配・制約を受けずに自分自身で立てた規範に従って、行動すること。

※社員の幸せの定義

- ・成長し続ける意欲を満たす(成長し続ける社員さんを求めている)
- ・商品・サービスの提供を通じてお客様(社会)の必要とされること(お客様に役立つことを喜びとする社員さん)
- ・リングで働くことで家族も安心してもらえる

## □ごあいさつ

2001年に創業して今まで営業成績を上げることに専念してきましたが、それだけでは理念にある「あんぜんな社会の実現」はできないと判断しました。

会社の維持発展を継続していくために、環境問題にも取り組み、微力ながら社会に役立ち利益を上げることもできて、結果として社員が幸せで、安定した生活ができることを目指す所存です。

いままで、計画、実行、確認、改善の手順すら実行することができませんでした。すこしずつ社員の意識も変わり、改善していく仕組みを作ります

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

本業である防犯・防災用品の普及を通じて、地球温暖化問題への取り組みや産業廃棄物の削減、地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

SDGsの12.5にある「2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。」に貢献できるよう分別に努めリサイクルできるものはリサイクルし、また廃棄物を減らす努力を、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や弊社が約束したことを遵守します。
2. 効率的な営業活動や仕事の改善を通じて二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 梱包材料の工夫により包材廃棄物の発生抑制、工事に伴う廃棄物の適正管理に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 作業で使用する塗料などを適正管理に努めます。
6. 防災用品の販売を通じて、地球温暖化対策の適応策に貢献します。  
防犯設備設置に伴う工事の際に環境への配慮を行います。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2019年10月1日

改定日：2019年10月26日

有限会社リング  
代表取締役 齋藤陽子

## □組織の概要

更新日：2020年1月16日

(1) 名称及び代表者名  
有限会社リング

代表取締役 齋藤陽子

(2) 所在地  
本 社 大阪府大阪市港区市岡元町一丁目一番三十三号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 事業係長 松尾剛志 TEL：06-6581-2880  
担当者 業務課長 皿谷夏奈子

(4) 事業内容  
防犯・防災用品の販売・設計・施工

(5) 事業の規模  
売上高 325,463 千円  
本社  
従業員 名 9 名  
延べ床面積 m<sup>2</sup> 300 m<sup>2</sup>

(6) 事業年度 10月1日～9月30日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社リング  
対象事業所： 有限会社リング本社

対象外： なし **全社全活動認証範囲**  
活動： 防犯・防災用品の販売・設計・施工

公園に設置した子供見守りカメラ



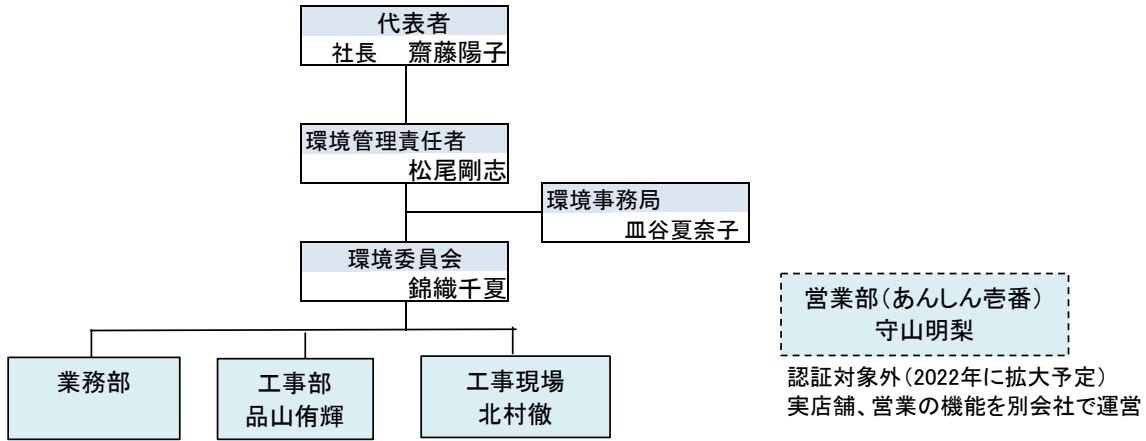
お客様のところに行って施工します

イベントで防災備蓄品を紹介しています



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年1月16日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する内部監査の計画</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>		7,711	
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg		288	
産業廃棄物排出量	kg		5,775	
水使用量	m <sup>3</sup>		0	

※二酸化炭素排出係数 0.371 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数

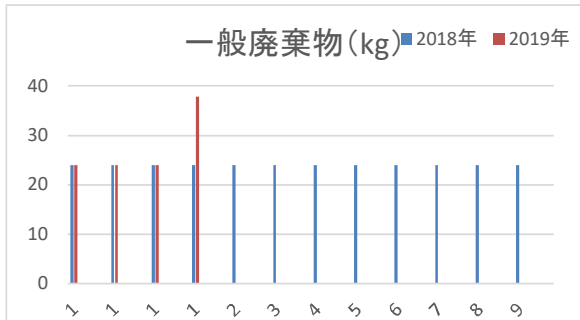
※水道については個別メーターがないため、把握できません。

## □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2019年		評価	2020年	2021年
			上段:	通期		(目標)	(目標)
			下段:	12月末まで			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	8,698	8,611			8,524	8,438
		2,057	2,037	2,008	○		
	基準年度比	2018年	99%	98%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,821	4,725			4,676	4,628
		1,276	1,250	1,543	×		
	基準年度比	2018年	98%	121%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合	kg-CO <sub>2</sub>	13,519	13,336			13,201	13,066
一般廃棄物の削減	kg	288	268			268	259
		72	68	72	×		
	基準年度比	2018年	93%	100%		93%	90%
混合廃棄物の割合の削減	%	-	90%	100%	×	90%	90%
水道水の削減	行動目標 (次項による) メーターがないため数値は把握できない						
インターネット販売促進 (1課)	万円	21,155	23,271			25,386	27,502
		7,306	8,037	4,378	×		
	基準年度比	2018年	110%			120%	130%
法人営業販売促進 (2課)	万円	7,551	8,306			9,061	9,816
		1,766	1,943	989	×		
	基準年度比	2018年	110%			120%	130%
機器施工の販売促進 (3課)	万円	3,935	4,329			4,722	5,116
		723	795	840	○		
	基準年度比	2018年	110%			120%	130%
地域での環境活動	行動目標 (次項による)						



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	分別を徹底して行ったが、廃棄物の削減目標達成はできなかった。廃棄物の量を可視化し、ゴミ箱付近に掲示することで廃棄量削減に努める。
・分別の徹底	○	
・紙類のリサイクル化	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減、電子化	×	
・梱包材の再利用	△	



取組紹介欄  
分別を徹底している。  
廃ダンボールは地域に寄付をし、再利用をしている。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018年	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
2019年	24	24	24	38								

混合廃棄物の割合の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	分別の徹底はできたが、工事の際に発生する産業廃棄物の再資源化先の開発はできなかった。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	×	

取組紹介欄  
工事に伴う廃棄物においても分別を徹底し、混合廃棄物の割合削減に努めている。

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標(メータがないため把握できない)		節水ポスターを掲示を行い、節水啓発に努めた。
・音発生器の利用による節水	○	

取組紹介欄  
節水の啓発ポスターを貼り、また音姫の使用により、水使用量削減に努めている。





インターネット販売促進(1課)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	不良在庫の削減は徹底して行った。一方で動画作成による販促は、新たな取り組みであったため、スムーズに動画作成を行うことができず、月2本の作成はできなかった。動画作成に慣れ、スムーズに行うことで動画による販促を行い、売上目標達成を目指す。
不良在庫を減らす	△	
動画を月2本作成する	△	

法人営業販売促進(2課)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	利益率の改善を行い、価格改定などを行った。ただ、売上目標は達成できなかったため、引き続き利益率改善を行うとともに、売上目標達成のため、成約率を上げるとりくみを行う。
利益率の改善	○	

機器施工の販売促進(3課)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	顧客訪問を徹底して行うことで10月は目標を達成することができた。引き続き、顧客訪問を徹底して行う。
顧客訪問の徹底	○	

取組紹介欄

動画作成し、販促活動を行っている。



環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	顧客との連絡・打ち合わせが確実ではない部分があり、お客様の要求を完璧に満たすことが出来ないことがあった。今後はしっかり(できれば紙に書いたものをみながら)打ち合わせをしていきます。産廃はもっと細かく分別して効率よく処分できる業者を探します
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	△	
・廃棄物の再資源化の推進 (別項目で実)	×	

取組紹介欄

一作業、一片付けを徹底し、作業の効率化を図っている



**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、金属くず等）
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
顧客要求事項	安全管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。


**□外部からの環境に関する苦情等**  
 対象年度は苦情等ありませんでした。

**□緊急事態対応訓練**

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2019/12/27	■実施場所 本社
■参加者： 代表者及び従業員全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 改めて避難経路の確認等を行えた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年1月16日

【前回の指示への取組結果】 廃棄物の分別などは通常から行っていたため、問題なく取り組めているが、数値目標の達成には甘さがある		
<情報> ◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） 産廃の費用が急激に高騰してきている。 さらなる分別を徹底して、専門の引き取り先に廃棄してもらう 開拓先が必要		
◇環境経営目標・計画の達成状況 数値目標を何が何でも達成するという風潮になっていない		<見直し・指示> ◇環境方針 策定間もないので今年度終了後に見直しを行う予定
◇その他		◇環境経営目標・環境経営計画 目標内容は引き続き継続 過剰な梱包材料の見直しによるごみの削減 不良在庫の削減による事業体形のスリム化
◇実施体制他 当面の間は現体制で実施し、今年度終了後、見直しを行い、実施体制変更の有無を検討する。		
入札参加資格の建設を申請するのにエコアクション21の取り組みがあると評価が上がると聞いて挑戦しました。 今後しっかりPDCAサイクルをまわして、より質の高い企業づくりに取り組んでいきます 今年度は消防設備士の甲4類資格所有者が2名いるので、建設業の消防設備工事業で登録をします また、広すぎる本社はしっかり整理整頓して無駄がない小さな事務所に移転します それにより、一層無駄な電気や水道を使用しないようにしていきます。		

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□編集後記

途中から引き継いだため、手探りの中でのレポート作成でしたが、無事完成し、様々な取り組みに携われてよかったと思いました。